



△負傷者を救護する日赤奉仕団



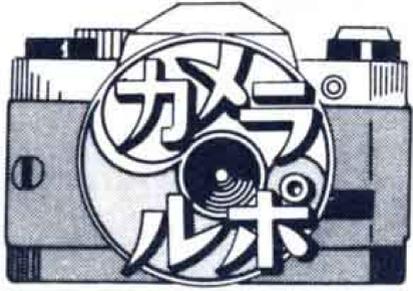
△浄水器で飲料水を確保する少年



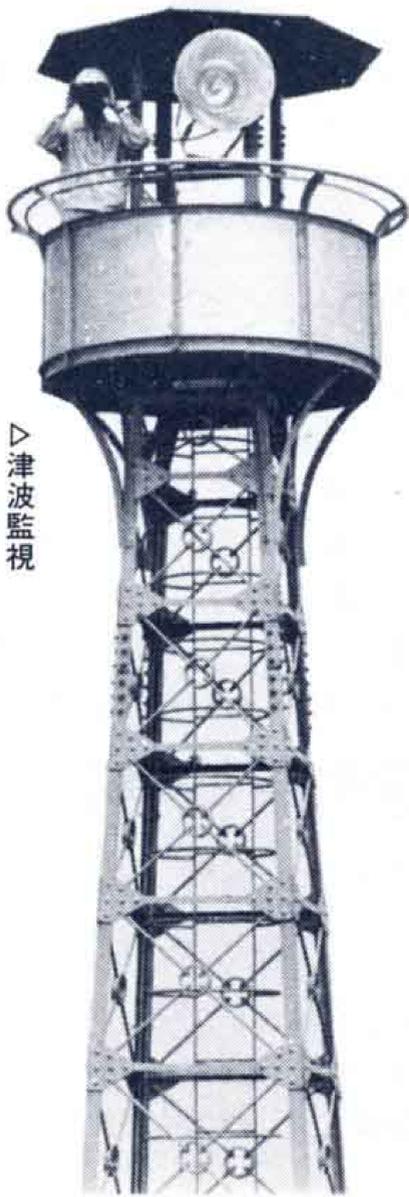
▷渡辺市長が全市民にメッセージ

▽オイルフェンスで油の流失防止訓練





△放水訓練に中学生が活躍



▷津波監視

想定！東海地震が発生

防災訓練に市民十七万二千人が参加

今年の防災訓練は、九月一日の「防災の日」と四日の両日に分かれて行われました。

九月一日は、国・県・市が中心となり、それに学校や幼稚園・保育園を初め公共施設・会社・事業所・自主防災会などから十二万四千人余が参加。

一方四日は自主防災会が中心となつて行う設定となつていましたが、体育祭と重なつた地区が一日に実施したため五十五町内と、その他一般家庭などから三万七千人余が参加して行われました。

訓練は「駿河湾を震源域とするマグニチュード8の地震が発生、このため沿岸一帯に津波が襲来し、各地で山崩れ、家屋の倒壊等が発生し、負傷者が出た。」という想定で、消火活動や救護活動など本番さながらの訓練を行い大きな成果をあげました。



△消火は手前から掃くように…